

高知県商工団体連合会 NO.1142(56-39)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kosityoren.jp>

このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## 青年部・経営交流会23人、BBQ交流会75人で大盛況

4月13日(日)、高知市で「民商青年部・経営交流会&バーベキュー交流会」を開催しました。

### 経営交流会

会場いっぱい参加者



香美郡民商青年部の山本良介さん(鍛造業)と高知民商青年部の山崎純一さん(建築塗装業)が報告をし、参加者の質問に答える形で交流しました。



山本良介さん

山本さんは、「県外で働いていましたが、帰ってきて『鍛冶屋創生塾』(月謝6万円)で研修(修行)し、独立開業しました。今は、造林鎌など鎌を中心に作っていますが、鎌の

需要も減ってきているので、他の製品も作れるような技術を身につけようと試行錯誤しています」と語り、制作している鎌などの商品を紹介しました。

参加者からの、「1日でどれくらいの製品(鎌)が作れるのか」「研修中や開業にあたっての補助などあるのか」などの質問に、「研修中は月15万円の助成金が2年間出ます。今年から100万円の開業資金補助制度が創設されました」と、山本さんが答えています。



山崎純一さん

山崎さんは、「塗料の話があります。様々な種類があり、有名なものでは『シリコン塗料』があります。外壁で10年から15年の耐用年数です(シリコンの含有量によりますが)。さらに『フッ素塗料』は高額になります。外壁で20年の耐用年数があります(メーカー説明)。高くても長持ちするものに替えるものにするかお客様によります」と語りました。

参加者からの、「どう有効化があって耐用年数が伸びるのか」「遮熱塗料というのを聞いたことがあるが効果はあるのか」など質問に、「自宅の屋根

の遮熱塗装をした。2〜4度室温が下がったが、効果は3〜5年程度だった」など答えていました。

高知民商青年部の下本一歩さんは「これイイ」「どこで買えるの」と見入っていました。参加者は「お玉」「フォーク」「トンゴ」など、下本さんホームページより



下本さんホームページより

短時間で初めての交流会でしたが、有意義な取り組みとなりました。

### BBQ交流会も大盛り上がり

18時からのバーベキュー交流会には、昨年(59人)を上回る75人が参加(大人66人、高校生1人、小学生5人、幼児3人。他団体からの参加13人)。

山崎純一高知民商青年部長が、「昨年以上にたくさんの方が参加下さりありがとうございます。5時からの経営交流会も大変良かったです。今日は、大いに交流しましょう」と乾杯の音頭。さっそく、豪快に肉を焼き始め、ビールも次々と空になります。「久しぶり」と昨年来の再会に乾杯しあう光景も。途中、各民商や他団体の紹介も。今年、『「名前」でビン



商工新聞(3/31)の下本節子さんの手記を転載(連載)します  
**核兵器禁止条約**

### 締約国会議を傍聴②

今回の締約国会議に、私は「ビキニ被ばく船員訴訟・原告団長」として、原水爆禁止日本協議会(原水協)代表団の方たちと参加しました。日本原水爆被害者団体協議会(被団協)事務局次長の和田征子さん、濱住治郎さんのお二人も一緒でした。

今回の締約国会議は、条約の第6条「被害者に対する援助及び環境の修復」と第7条「国際的な協力及び援助」が主なテーマで、国際信託基金の具体的な提案などが話し合われました。

私は、国連内の小会議室や周辺で開催される「サイドイベント」の5カ所で「ビキニ被ばく船員訴訟」について発言しました。街頭での「イザヤの壁被ばく者集会」では、日本の「はちきん平和大使(下本)」も土佐弁でスピーチしました。

私が心打たれたのは、戦争中に朝鮮半島から強制労働で日本に連れて来られ、広島・長崎の軍需工場に働いていて被爆し、終戦後も何の補償もないまま帰国した韓国人の発声で、加害国としての責任を感じました。



国連軍縮担当上級代表の中満泉さん(前列右から3人目)と下本さん(同4人目)

「来年もぜひやりたいね」と語り合いながら散会しました。

全国会長会議までに読者100人を増やそう!